

市町村名	事業実施主体名 メ ニュー (対象作物・畜種等名) ①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の詳細	都道府県の評価	備考
			被災前 22年度	1年後 (平成 26年)	2年後 (平成 27年)	3年後 (平成 28年)	目標 値 (平 成28 年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
本宮市	公益社団法人福島県畜産振興協会 畜産物共同施設整備(家畜市場)畜種(肉用子牛、乳用子牛)	県内家畜市場の再編整備による被災前の取引頭数の回復	取引頭数 15,828頭	取引頭数 15,922頭	取引頭数 15,834頭	取引頭数 15,972頭	取引頭数 20,058頭	80%	被災前(平成22年度)と比べ、144頭増加し、平成28年度の取引頭数は、15,972頭で、達成率80%となった。	家畜市場(つなぎ場、けい養舎、誘導レーン等)	554,684,220 (H25~26) 236,588,580 (H26~27) 318,095,640	274,151,000 115,185,000 158,966,000	178,197,000 74,870,000 103,327,000	0 0 0	102,336,220 46,533,580 55,802,640	H27.4.24	東日本大震災及び原子力発電所事故により休廃止した2つの家畜市場を福島県家畜市場に統合したことにより、新規の購買者の参入など市場の活性化が図られ、取引頭数は被災前に比べ144頭増えた。 一方で、高齢化等による和牛繁殖農家戸数及び肉用子牛の生産頭数の減少に歯止めがならず、上場頭数が減少し、成果目標を達成することができなかった。 今後、県、JA等と連携し、畜産クラスター事業等を活用して肉用牛増頭に向けた会議等を通じて、取引頭数の増加を図る。	福島県内の家畜市場の再編統合に伴い、市場の集約による上場頭数の安定的な確保や広範な購買者の参集による適正な価格形成が図られた。 取引頭数は被災前までの頭数に回復したものの、高齢農家の離農や避難指示等地域における営農再開が途上であることから、和牛繁殖農家の数は回復に至っていない。 このため、肉用子牛生産頭数の減少に伴う上場頭数の減少から、成果目標を達成することができなかった。 今後、意欲のある被災農家の営農再開への支援や県内への企業農場の誘致活動を行い、飼養頭数の増頭など生産基盤の強化を支援していく。	2カ年(H25年度及びH26年度)で事業を実施